

平成5年のわかさぎ漁獲量予想まとまる

霞ヶ浦 440～560トン

北浦 140～170トン

いよいよワカサギ漁の解禁です。霞ヶ浦北浦のシンボルとも言うべきワカサギの豊漁はだれしもが願うところです。内水試では、さる7月7日(水)の早朝、関係者の御協力を得て、ワカサギ漁期前試験操業を実施しましたので、その結果とそれによる今年の漁獲量予想をお知らせします。

表1に試験操業結果を示しました。これは各地点とも、20分間の下層曳を行った結果であり、( )内の数字は昨年の結果を示します。これによりますと、霞ヶ浦では、3地点の合計の漁獲量は昨年を約10Kg上まわる50.5Kgであり、昭和59年に次いで2番目に多い結果となりました。その内訳をみると牛渡では昨年の4倍、湖心でも昨年の1.8倍の漁獲があったことが目立ちました。北浦でも、3地点の合計漁獲量は昨年を約20Kg上まわる61.9Kgであり、7年ぶりに60Kgをこえる結果となりました。北浦では各地点とも昨年を上まわり、特に江川では3倍以上の漁獲がありました。また、魚体の大きさについては、霞ヶ浦北浦ともに昨年よりも平均体重が大きく、成長がよかったことがうかがえました。

次に、今回の結果をこれまでの試験操業結果と年間漁獲量との関係を示す図1にあてはめると、霞ヶ浦では約560トン、北浦では170トンの値が得られます。しかしこの値はやや高すぎる予想ではないかと考えられました。なぜなら、図に示すとおり近年は、実際の漁獲量が推定直線よりも下側に、つまり計算値よりも少な目になる傾向がみられるためです。したがって、予想としてはこれらを考慮して、霞ヶ浦では460から560トン、北浦では140から170トン程度になると判断しました。

表1 試験操業結果

地点	漁獲量(Kg)	平均体重(g)	漁獲尾数
湖心	4.4 (2.4)	2.60 (2.71)	1690 (900)
牛渡	22.2 (5.4)	2.75 (2.62)	8060 (2150)
高浜	23.9 (32.5)	2.80 (2.52)	8550 (8640)
合計	50.5 (40.3)	2.72 (2.62)	18300(15800)
水原	19.3 (15.3)	2.20 (2.11)	8790 (7260)
白浜	18.6 (18.5)	1.95 (1.98)	9520 (9350)
江川	24.0 (7.0)	2.06 (1.79)	11680 (3910)
合計	61.9 (40.8)	2.07 (1.96)	29980(20500)

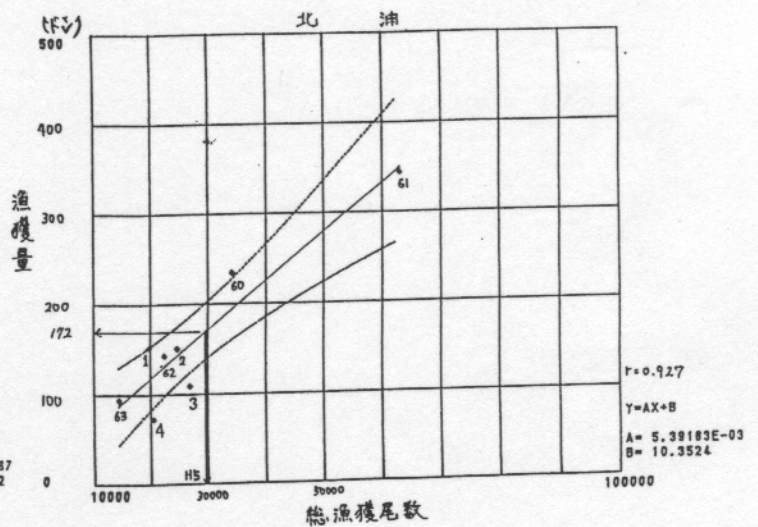
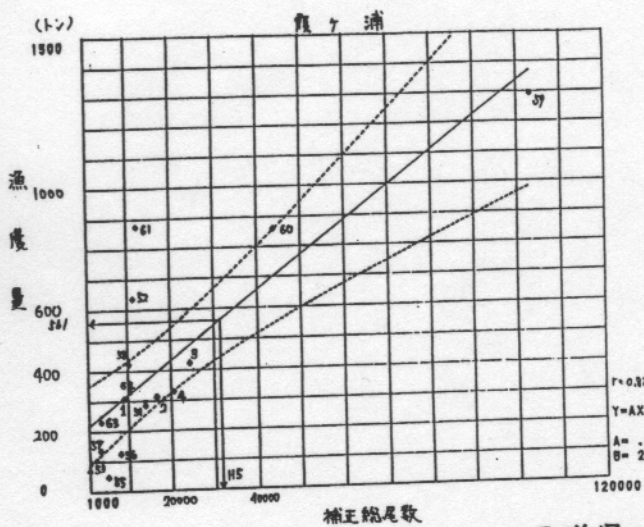


図1. 試験操業漁獲尾数と漁獲量との関係